

## 行 政 報 告

第2回町議会定例会にあたり行政報告を申し上げます。

はじめに、町葬の執行について申し上げます。

去る5月22日、永年にわたり本町の発展に多大なるご尽力をいただきました、長万部町名誉町民、西田君雄様が逝去されたことに伴い、長万部町名誉町民条例第3条の規定に基づき、5月25日、26日の両日、福祉センターにおいて、長万部町と西田家の合同葬を執り行うとともに、永年の功績に対し、弔慰金の奉呈をさせていただきました。

告別式では、追悼の辞に続き、故人と縁のある3名の方々から弔辞をいただき、在りし日のお姿を偲びました。

改めまして永年のご労苦に感謝申し上げますとともに、安らかにお眠りくださいますようお願い申し上げます。

なお、葬儀等に要する費用について、5月23日付けで専決処分をいたしましたので、本定例会に補正予算の承認を提案いたしております。

次に、平成27年度各会計の出納閉鎖による決算見込みについて申し上げます。

一般会計は、形式収支において1億6,058万6千円の繰越しとなり、翌年度へ繰り越す地方創生加速化交付金事業及び情報セキュリティ強化対策事業の財源2,509万8千円を差し引き、実質収支1億3,548万8千円の余剰金を生じました。

歳入は、繰越分を除いた予算に対して2,831万円の増で、町税が、予算に対し3,875万円の増となり、歳出は、平成28年度への繰越分を除いた実質の不用額は、1億717万8千円であります。

後期高齢者医療特別会計は、107万円の繰越しとなりました。

国民健康保険特別会計は、1億1,643万2千円の赤字となりました。

赤字となった主な要因は、国・道交付金の収入減及び共同事業拠出金の支出増であります。平成27年度の赤字は、平成28年度の歳入を繰り上げて補てんすることとなるため、5月31日付けで平成28年度補正予算を専決処分いたしました。

また、療養給付費等負担金等は、翌年度において精算されることから、精算額が確定次第、補正予算を提案いたします。

介護保険特別会計は、2,410万4千円の繰越しとなりました。

繰越しとなった主な要因は、介護保険給付費などの減によるものであります。なお、介護保険給付費に係る交付金等は、給付費の割合で交付されるもので、平成28年度に精算されることから、精算額が確定次第、補正予算を提案いたします。

公共下水道事業特別会計は、経費の節減に努める中、各支出科目の不用額の発生等により、544万9千円の繰越しとなりました。

ガス事業会計は、年間ガス販売量が前年度対比4千立方メートル減の17万8千立方メートルとなり、ガス売上は685万2千円の減収となりました。

事業収支では、経費の節減に努めましたが、熱量変更費用の償却により、多額の費用計上となったことから6,477万5千円の当年度純損失となっております。

この当年度純損失を前年度繰越欠損金3億3,089万9千円に加えますと、当年度未処理欠損金は3億9,567万4千円となります。

水道事業会計は、年間給水量が前年度対比1万3千立方メートル減の62万3千立方メートルとなり、給水収益は181万6千円の減収となりました。

事業収支では、経費の節減等により628万3千円の当年度純利益となり、前年度繰越欠損金798万8千円から当年度純利益を差し引きますと、当年度未処理欠損金は170万5千円となります。

病院事業会計は、前年度に比較し、入院患者数は19%の減少となり、入院収益では1,556万7千円の減収となりました。

外来患者数は5.6%の減少となり、外来収益では965万6千円の減収となっております。

事業収支では、一般会計から3億1,000万円の補助金を繰入れした結果、期末決算では2,520万5千円の純損失となり、この純損失を前年度繰越欠損金3億1,523万1千円に加えますと、当年度未処理欠損金は3億4,043万6千円となります。

なお、各会計の詳細については決算上程の際に関係資料を提出いたします。

### **次に、ふるさと納税について申し上げます。**

長万部町まちづくり基金条例による「ふるさと納税」の平成27年度の寄付状況は、昨年度の1,381件、1,272万8,000円を大きく上回る5,852件、6,649万3,668円と、単年度として過去最高額となり、条例施行後の寄付金総額は7,340件、8,652万5,056円となりました。これは、昨年9月から、寄付者がインターネットで簡単に寄付できるよう、公金支払いサービスを開始したことにより、手続きの利便性が向上したため、寄付者が急増したという状況であります。

今後は、寄付者が贈呈品を選択できるよう登録品数を増やし、特産品の全国PRを図るとともに、さらにふるさと納税による寄付の拡大を目指してまいります。

### **次に、東京理科大学関係について申し上げます。**

先月21日、葛飾キャンパスでの東京理科大学基礎工学部創設30年記念式典にお招きをいただき、お祝いの言葉を述べさせていただいたところでありますが、卒業生や教授の方々のお話しをお聞きする中で、基礎工学部の学生達が学内で最も大学院進学率が高く、退学者数は一番少なく、

就職後もそのパフォーマンスとコミュニケーション能力が突出して高いとの評価を受けているそうであります。その要因として、みなさんが挙げられるのは、長万部で過ごされた1年間で、優秀な人材を輩出する大きな原動力になっていたということであり、長万部キャンパスに対する期待は、今後ますます大きくなっていくのではないかと強く心に刻まれたところであります。

長万部キャンパスにおいても、本年8月23日から27日にかけて、東京理科大学長万部キャンパス開設30年記念イベントを開催する運びとなっております。著名人による講演会や、全国から同窓生が集う大同窓会なども開催され、最終日には、30年の歴史を振り返りながら、長万部町のこれからをテーマに「長万部フォーラム（仮称）」の開催を予定しております。

また、この記念すべき節目の機会に、東京理科大学に対し、30年間の感謝の気持ちを込め、本町の産業振興に資する研究費用などに充てていただくための寄付金を贈呈することとしており、補正予算を本定例会に提案いたしております。

また、昨年締結した本町と大学との地方創生に係る包括的連携協定に基づく事業の一つとして展開している、再生可能エネルギーを活用した先進的アグリビジネス事業については、3月に実地研究用ビニールハウスを設営し、レタスの栽培研究を開始したところであり、引き続き本事業の成功に向け、理科大と連携し取り組んでまいります。

## **次に、北海道新幹線関係について申し上げます。**

昭和48年の整備計画決定から40年あまり、今年3月26日、北海道新幹線の新青森・新函館北斗間が開業いたしました。

当日行われた式典では、光輝く新幹線車両が出発するのを目の当たりにし、15年後の長万部駅開業への期待に胸が膨らむと同時に、改めて身が引き締まる思いでありました。

開業後1ヶ月間の北海道新幹線利用実績については、対前年比2倍となる1日平均5千6百人とJR北海道から発表されましたが、本町におきましても、今回の開業を新たなスタートとして、町民のみなさんに効

果が実感できる取組を着実に進めてまいりたいと考えております。

一方、新函館北斗・札幌間につきましては、今年3月、町内では初のトンネル工事となる立岩トンネルのルコツ工区が発注され、さらに今年度中には、内浦トンネルの静狩工区が発注される見込みであるなど、いよいよ長万部町内にも新幹線工事の槌音が聞こえてまいりました。

また、トンネル工事の本格化に伴い、鉄道・運輸機構の建設事務所及び宿舎の建築も近く工事が進められる予定と伺っております。

本町といたしましては、引き続き、関係機関と密接な協議を行いながら、早期完成に向けた対応に努めてまいります。

### **次に、新幹線を核としたまちづくりについて申し上げます。**

新幹線関連の基本計画となる「新幹線を核としたまちづくり実行計画」につきましては、幅広い参加者からなる計画策定協議会での議論やパブリックコメントなどを経まして、今年3月に策定したところであります。

今年度は、町内の交通量推計や道路・公園・駅前広場等の具体的整備を視野に入れた「新幹線駅周辺整備計画（仮称）」を策定することとしており、まちづくりの主役である町民のみなさんをはじめ、周辺自治体や交通事業者などとも連携しながら、実行可能な計画となるよう、一つ一つ検討を重ねていきたいと考えております。

### **次に、地域おこし協力隊について申し上げます。**

地域おこし協力隊につきましては、全国から15名の応募があり、面接試験を実施するとともに、適性などを総合的に勘案した結果、観光分野での支援員として2名を採用し、4月から「インフォまんべ」を中心に活動し、町の様々なイベントにも積極的に参加いただいているところであります。さらに今月から1名を採用し、先進的アグリビジネス事業などの農業分野の支援員として活動いただいております。

引き続き、本町の貴重な戦力として、地域おこし協力隊員の活動がスムーズに行われるよう、積極的な支援を展開してまいりたいと考えております。

## 次に、ＪＲ北海道による町内駅の廃止提案について申し上げます。

今月に入り、北海道旅客鉄道株式会社函館支社から担当が来庁され、平成29年3月のダイヤ改正に合わせて、函館本線の本町無人駅の内、蕨岱駅と北豊津駅の2駅について、廃止を検討している旨の説明があったところであります。

しかし、該当する両駅とも、現在、高校などへの通学や通院などでも利用され、地域住民にとって生活に直結する必要不可欠で重要な交通手段となっており、両駅の存在する各町内会などからも廃止の撤回要望が強く寄せられているところであります。

今後は、さらに駅を利用される地域住民の利用状況の把握に努めるとともに、ＪＲ北海道へ駅の存続について要望するなど、地域住民の交通手段を確保するべく対応してまいりますので、町議会の皆様のご支援も賜りますようお願いいたします。

## 次に、老人福祉関係について申し上げます。

高齢者や心身に重度の障害を持つみなさんが、社会参加や日常生活の中でタクシーを交通手段の一つとして容易に利用できるよう料金の一部を助成しておりますタクシーチケットの交付は、4月13日から役場窓口で、また18日に国縫・中ノ沢・双葉・静狩の各会館に出向き交付手続きを行いました。

6月1日現在の対象件数は853件で、交付件数は710件、83.2%であります。

また、9月19日は敬老の日であります。長寿のお祝いと社会貢献へのお礼を込めて、9月12日から14日までと16日から19日までの計7日間、老人福祉センターを昨年に引き続き無料開放する予定としております。

## 次に、児童福祉関係について申し上げます。

4月1日にさかえ保育所の入所式を行い、今年度の入所児童数は、保育定員60名に対し、59名の入所となっておりますが、5月に1名

が入所しましたので60名となっております。

一時保育事業の4月の利用は、3歳未満児が5名で延べ42日間、小学校低学年児童受入事業の利用は、1・2年生が3名で延べ18日間、保育所に併設している地域子育て支援センターの利用は、延べ51組115名の親子の利用となっております。

また、放課後児童健全育成委託事業の学童保育所「ななかまど」は、現在、小学1年生1名、2年生2名、3年生2名、4年生1名の計6名の入所となっております。

### **次に、臨時福祉給付金について申し上げます。**

賃金引き上げの恩恵が及びにくい低年金受給者への支援と、平成28年前半の個人消費の下支えに資する暫定的・臨時的な措置として、所得の少ない高齢者等を対象とした年金生活者等支援臨時福祉給付金を6月から支給開始しております。

この給付金制度の給付対象になると思われる方には、既に申請書を送付しておりますが、町広報で広く町民のみなさんへ周知するとともに、関係機関等にもご協力をいただき、適切に事業を進めてまいります。

なお、今後は昨年同様の臨時福祉給付金を含め、高齢者向け以外には、低所得者の障害・遺族基礎年金受給者向けの給付金が予定されておりますので、決定しましたら随時町民のみなさんへお知らせしてまいります。

### **次に、生活環境関係について申し上げます。**

平成27年度の本町のゴミ収集総量は、約2,090トンで、前年度と比較して約42トン減となっております。

また、渡島廃棄物処理広域連合に排出した可燃ゴミの量は、約1,717トンで、前年度と比較し25トンほど減少いたしました。

ゴミの減量化の一環としては、今年度も衣類の無料回収を5月19日に町内13か所の地域会館等を実施し、135kgの衣類を回収することができました。

今後も、イベント等にあわせた衣類無料回収も考えておりますが、ゴミの減量には、町民一人ひとりの意識と実行が欠かせないため、ゴミの分別排出にもご協力いただくよう一層の啓発に努めてまいります。

### **次に、防犯灯・街路灯LED化事業について申し上げます。**

防犯灯・街路灯LED化事業の実施に向け、平成28年度環境省所管補助事業である「二酸化炭素排出抑制対策事業費等補助金」を活用することを条件に、準備手続きを進めております。

事業内容は、町で管理する防犯灯・街路灯425灯を対象に、10年間のリース方式を前提として、調査・計画策定及び管理台帳・管理図等を委託整備し、LED化への一括更新工事を実施するものであります。

委託業者については、公募型プロポーザル方式により選定する予定であり、LED導入調査事業に係る費用について、本定例会に補正予算を提案いたしております。

### **次に、農業関係について申し上げます。**

家畜の主たる飼料作物であります牧草は、春先の高温多照により生育は順調に経過しており、5月15日現在の作況状況では、生育は平年より早く推移しております。また、サイレージ用とうもろこしは、播種作業が平年並に進んでいる状況となっております。

牧野事業では、足腰の強い優良な後継牛の育成や生産コストの低減と酪農経営の安定を図るため、公共牧場の運営事業を行っておりますが、昨年度から牛ウイルス性下痢の入牧前検査後に入牧を実施しており、牧場内での感染防止に努めております。

入牧状況につきましては、町内酪農家の飼育牛は、4月28日に共立牧場へ192頭、5月6日に蕨岱牧場へ85頭を入牧しました。

また、共立牧場は、入牧頭数に余裕があるため、今年度も豊浦町及び洞爺湖町の酪農家の飼育牛の預託を受入れ、5月20日に66頭の入牧が

終了し、合計343頭が入牧しております。

生乳生産量は、1月から4月まで3,385トン、乳代は3億451万円となり、前年に比較し20トンの減となりましたが、乳代では974万円の増となっております。

黒毛和牛の1月から4月までの販売頭数は83頭、販売金額は6,059万円となり、前年に比較し、販売頭数で8頭の増となり、販売金額では1,721万円の増となっております。

### **次に、林業関係について申し上げます。**

森林環境保全整備事業の静狩地区の地拵・植栽事業3ヘクタールは、4月27日に着工し、5月31日に完成しております。

緑化推進では、今年度も引き続きNPO法人長万部町緑と樹を愛する会からエゾヤマザクラの苗木100本の寄贈があり、4月29日に同法人主催の「植樹祭」で、町民参加のもと富野地区の町有地に植樹が行われました。

### **次に、有害鳥獣駆除対策について申し上げます。**

有害鳥獣駆除対策では、長万部町鳥獣被害防止対策協議会が中心となり、関係機関と連携を図りながら、効果的な被害防止対策を実施しております。

また、ヒグマや近年個体数が急増しているエゾシカが、林業や農業へ被害をもたらしていることから、総合的に対処するため、今年度も引き続き「鳥獣被害防止対策事業」を同協議会に委託し、ハンターによる巡回の徹底や有害鳥獣駆除業務を実施し、被害防止対策の強化を図っております。

今後も関係機関と連携を図り、鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律に基づき、人畜被害を防止するため適切な処置を実施してまいります。

**次に、漁業関係について申し上げます。**

基幹産業である平成27年度のホタテ貝養殖漁業生産量は、17,168トンとなり、前年度に比較し7トンの増産で、生産額では56億6,771万円となり、前年度と比較し14億6,275万円の増収となっております。

また、EU向け出荷は259トンが水揚げされ、網走管内の加工業者に出荷しております。

渡島北部地区水産技術普及指導所が、本年3月に長万部町海域のホタテ稚貝の生育等を調査した結果、正常貝は約64%、変形及び欠殻貝が約28%、へい死等の死貝が約8%となっており、例年と比較し外部異常貝の発生が多く、来年以降の生産量が減少する恐れがありますので、関係機関と連携し、生育状況を注視してまいります。

また、近年、全国的に不漁が続く秋サケ漁の平成27年度の漁獲量は605トンで、前年度に比較し398トン減少し、漁獲額は2億5,459万円となり1億4,612万円の減収となっております。

長万部町水産廃棄物リサイクル施設については、長万部町内の水産加工処理により生ずるホタテウロを効率的、衛生的かつ安全に処理するため、管理及び運営を委託しておりますが、委託先である長万部漁業協同組合より、施設で処理されたホタテウロ乾燥品の品質を向上させ、安定的かつ効率的に製品を販売するために、製品販売先との業務提携を図りたいとの申し出があったことから、長万部町としても委託方法について検討し、平成28年度より製品販売先との業務提携を認め、契約をいたしました。今後も長万部漁業協同組合と連携を図りながら施設の運営を適切に行ってまいります。

**次に、商工観光労政関係について申し上げます。**

地域消費の喚起を図るため、長万部商工会が平成27年度に実施したプレミアム付商品券発行事業については、8月と10月の2回にわたり額面総額1億3,200万円分を発行し、換金までの全ての事業が完了いたしました。

これらの消費喚起効果は、アンケート調査を実施した結果でも地元消費の拡大、地域経済の活性化が認められました。

なお、中小企業を取り巻く環境は、緩やかに改善しているところではありますが、本年度も事業経営のさらなる安定を図るため、中小企業特別融資資金の貸付けを関係機関と連携し実施しております。

観光振興では、本年3月の北海道新幹線開業効果を最大限に活かしていくため、長万部町、八雲町、今金町、せたな町の北渡島檜山4町地域による観光での広域連携を進めております。

また、長万部観光協会では、JR長万部駅構内に設置されております観光案内所「インフォまんべ」を拠点に、インターネットで町の観光情報を積極的に発信しており、町を訪れる多くの観光客のみなさんへ長万部温泉や二股らちうむ温泉の案内、飲食店や商店の紹介をはじめ町内の観光情報を提供しております。さらに、長万部町の特産品や土産品などを取りそろえ販売しており、観光客に好評を得ております。また、各種観光イベントにも積極的に参加し、観光客の誘致に努めております。

本町の経済活性化の一環であります合宿等誘致事業は、ゴールデンウィーク期間の合宿等も順調に推移しており、今後とも関係機関と十分な協議を進め、合宿誘致を実施してまいります。

新規学卒者の就職状況は、景気の緩やかな回復と人手不足などを受けた企業の採用意欲の向上等により改善され、地元高校の3月卒業生の就職率は100%となっております。

## **次に、建設関係について申し上げます。**

建築事業では、町営住宅はまなす第3団地非常灯バッテリー交換工事を6月17日までの工期で、現在、施工中であります。

その他、各公共施設や公営住宅の修繕工事については、計画的に実施しております。

土木事業では、町道浅見線概略調査業務委託を平成29年3月10日までの委託期間で実施中であります。

道路維持関係では、町道中山大通線外舗装補修工事を11月14日までの工期で発注しております。

その他、町道の側溝補修等については、計画的に実施しております。

また、第2回臨時会において補正予算の議決をいただいたロータリ除雪車購入の入札を5月25日に行いましたので、地方自治法の規定により、本定例会に購入契約の締結を提案いたしております。

公園関係では、あやめ公園は4月15日に、長万部公園は4月22日に、それぞれオープンし、パークゴルフやキャンプなど、町内外の多くのみなさんに利用されております。

また、長万部公園キャンプ場照明設備改修工事を、6月17日までの工期で、現在、施工中であります。

その他、公園管理作業用トラクタは、6月1日に納入されております。

### **次に、公共下水道事業について申し上げます。**

終末処理場汚泥供給ポンプ分解整備工事は、9月30日の工期で施工中であります。

### **次に、水道事業について申し上げます。**

静狩地区1号水管橋補修工事及び長万部浄水場1号ろ過機ろ材交換工事は、9月30日の工期でそれぞれ施工中であります。

### **次に、町立病院について申し上げます。**

4月より伊藤内科医長が着任し、生まれ育った町の地域医療に貢献していただけることとなり、町民のみなさんへの診療体制が一層充実されたところであります。

また、北渡島・檜山医療圏域における医療連携として、今金町から派遣要請があったことから、今月より週1回、今金町国保病院へ医師の派

遣を行っております。

病院を取り巻く環境は依然として厳しいものがありますが、今後も地域に根ざした信頼される町立病院を目指してまいります。

### **次に、教育関係について申し上げます。**

長万部高等学校制服購入費補助は、新入学生の保護者27名から申請があり、131万6,736円を5月10日に指定された口座に振り込んでおります。

次に、長万部高等学校通学費補助は、国縫及び黒松内町等の通学者30名から申請があり、241万3,240円を支給決定しております。

また、国公立大学及び東京理科大学生に対する奨学金の給付や貸付けは、国公立大学生3名から申請があり、奨学金運営委員会を開催し給付等の決定をしております。

### **次に、消防関係について申し上げます。**

5月末現在の火災件数は2件で、うち、建物火災が1件、野火が1件発生しております。

救急件数は108件、搬送人員は104名で、うち、急病が53件、交通事故が8件、一般負傷が12件、その他転院搬送などが33件で、ドクターヘリによる施設間搬送が2件となっております。

火災予防の事業では、春の全道火災予防運動期間中に、ホテルや大型店舗など不特定多数の方が出入りする施設への防火査察、一般住宅の防火点検並びに住宅用火災警報器の設置状況を調査するとともに、女性消防団員による街頭啓発を実施いたしました。

また、今年度におきましても、子供から大人まで広く町民のみなさんに防火・防災について理解と関心を深めていただくため「おしゃまんべ消防フェス」を開催するなど、火災予防の推進に取り組んでまいります。

消防団の状況については、6月1日現在の団員数は147名で、うち、基本団員が110名、女性団員が16名、機能別団員が21名で、昨年同期と比べ4名増加しております。

また、消防団の装備については、国縫分団の消防車にAEDを搭載したほか、平成28年度コミュニティ助成事業のうち、地域防災組織育成事業助成金を用いて、救助ボートや救命胴衣・流水対策用胴付を配備するなど、今後とも消防体制並びに消防装備の充実強化を図ってまいります。

終わりに、本定例会に提案した議案は、専決処分の承認や規約の変更、一般会計補正予算など7件となっております。

議案上程の都度、担当説明員から説明させますので、よろしくご審議くださるようお願い申し上げます、行政報告を終わります。